

# 第61回高等経営学講座 開催報告



高等経営学講座は、毎年夏ハーバード・ビジネススクール等海外の諸大学から第一線級の講師陣を迎え開講しております。2016年7月26日（火）～8月3日（水）〔8泊9日〕帝国ホテル大阪にて、第61回高等経営学講座を開講しました。

日程表

[📅 2016年度 第61回高等経営学講座 日程表](#)

## 招聘教員



**Bharat N. Anand**

ハーバード・ビジネス・スクール教授



**富山 和彦**

株式会社経営共創基盤（IGPI）代表取締役CEO



**清家 篤**

慶應義塾長

慶應義塾大学商学部教授、博士(商学)

専攻は労働経済学

## KBS講師陣

浅川 和宏 / 井上 哲浩 / 太田 康広 / 大林 厚臣 / 岡田 正大 / 小幡 績 / 小林 喜一郎 / 坂下 玄哲（副主管） / 坂爪 裕 / 齋藤 卓爾（副主管） / 清水 勝彦（セミナー主管） / 中村 洋 / 余田 拓郎

## 激動の時代だからこそ、自らの「武器」を再発見する

第61回高等経営学講座は7月26日から9日間の日程でスタートしました。今回のテーマは「激動の時代だからこそ、自らの『武器』を再発見する」で、22業種・51社のトップ層91名の方々にご参加いただきました。

初日の慶應義塾の清家篤塾長による講演「バランスのとれた雇用、社会保障制度を構築するためのビジョン」に続き、2日目から経営戦略、マーケティング、組織マネジメントなど多様な分野にわたり毎日2つのケース討議が行われました。

中日の5日目は前半の学びを振り返り、株式会社 経営共創基盤 (IGPI)の富山 和彦代表取締役CEOを迎え、「経営者は本当は何をする人なのか? ~グローバル化、第4次産業革命を生き抜くリーダーシップ~」と題し「あれか、これか」の意思決定の重要性をご講演頂いた後、1時間半にもわたるQ & Aが交わされました。



最後の3  
日間は、  
競争戦略  
およびネ

ットワーク理論分野の大家であるハーバードビジネススクールのBharat N. Anand教授が加わり、多角化における内部プロセスの重要性、デジタル化時代のビジネスイノベーションについてケース討議が行われました。最終日には「コンテンツの罟：メディアのデジタル・トランスフォーメーションから得た教訓」というテーマで、「代替」「補完」という視点から「自社の武器」を見直す重要性につき、多くの事例を踏まえながら熱く語

っていただきました。参加者の満足度も非常に高かったと思います。

なお同セミナー後に三田キャンパスで開催されたAnand教授の講演会も大盛況のうちに終了しました。



第61回高等経営学講座 主管 教授 清水 勝彦